

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2020年度 第3回理事会議事録

日時：2021年1月16日（土）14時00分～16時50分

会場：ZOOMを使用し、オンラインにて開催

出席者：（理事）金澤 剛 福本 京子 小沼 正昭 上野 歩 小國 英夫
佐藤 健二 宮本 信 宮脇 棟次郎

（監事）石原 温 松本 典丈

オブザーバー：堺 珠美 佐藤 和夫 佐藤 弘子 佐藤 高之 藤井 将
松下 啓子 米満 淑恵

配布書類：理事会の議案書（事前配布分・追加配布分）

○招集と定足数

金澤理事長より、1月8日、定款35条1項に基づき、2020年度第3回理事会を招集したこと、14時現在、理事総数8名の過半数以上の理事7名が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

尚、本理事会は、新型コロナウイルスの解散拡大の防止の観点から、ZOOMを使用したオンラインにて開催し、出席者・オブザーバー全員がWEB参加した。

オブザーバーは、事前に傍聴参加の申し入れをお願いし、事前に登録を頂いた方々の傍聴参加を許可した。その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し、議事に入った。

○特別報告

・理事長より、特別報告「ミャンマーの介護職種の特定技能を巡る往復書簡」、「2021年の事業団の方針（案）」を一括して説明し、質疑を行った。下記のような意見、要望があった。

◇P3に、日本の介護の在り方を原則的に問い詰める、とあるが、是非とも、理念の大切さとこの姿勢を堅持し、全体で論議を深め、他とは一線を画し、この活動に秀でていたい。

◇3～5年後、第1期生からの帰国者も増え、理念である、好循環の節目となる。2021年は、意識して、チャレンジして、「人と地域」の循環を目指す、スタートの年だ。

◇コロナ禍、そして、時代の流れは出稼ぎ型技能実習制度に変化をもたらし、技能実習制度を支えてきた、既存の組織に変化をもたらすだろう。これにとって代わり、本来の目的である国際的好循環型が秀でることとなるはずである。

◇優秀な人材を一定の人数、定期的に欲しいというのが、介護現場の切実な声だ。今年から、他の介護現場に参加を促すことに舵を切り、会員増を目指し、一つの勢力として自立させることを当面の目的とすることに賛成だ。

そのため、他の事業所に呼びかけと、参加しやすいよう、費用の見直しと低減化から開始しよう。

○ 審議事項

1. 第1号議案 介護技能第3期生の受入れに伴う、初期費用の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決した、

2. 第2号議案 管理費等イニシャルコストの見直し方針の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。下記の意見をいただいた。

◇他の監理団体も、受入施設を増やすためにバーゲンとまではいかないまでもそれなりの柔軟な費用見直しを行っており、他との比較も示して折衝して欲しい。

◇介護技能実習生を増やすために、新規の実習実施者を開拓する営業活動は、ほとんどなく、他と比較しても、営業コストの負荷は小さいはずだ。実際、これらの営業活動に対する対価は支払われ、事業団やその会員に還元されるべきではないか。

3. 第3号議案「入会金及び会費に関する規程」の一部改訂の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、指摘された事項を再整理し、継続審議とすることを確認した。

○報告事項

議長は、議案書に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明させ、質疑を行った。

10. 事業団の新パンフレット作成の件は、発行の目的と活用方法、取材の進め方などの意見を頂き、3月末の納品で、制作を進めることを確認した。又、第3期生の2月配属に就き、PCR検査の実施、陰性証明書の取得、行動確認票の提出を求める意見を頂いた。

議長は、その後、議事審議を終了し、16時45分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2021年1月16日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 福本 京子

理事 小沼 正昭

理事 上野 歩

理事 小國 英夫

理事 佐藤 健二

理事 宮本 信

理事 宮脇 棟次郎

監事 石原 温

監事 松本 典丈